全般事項							
主放手項点数について	領収証、明細書に明記され	ıている項目毎の点数は.1占を	10円で計算1.ま				
パイオ後続品	領収証、明細書に明記されている項目毎の点数は、1点を10円で計算します。 バイオテクノロジー応用医薬品(先行バイオ医薬品)と同等/同質の品質、安全性及び有効性を有する医薬品です。						
後発医薬品		切れた後、発売される先発医薬	品と同成分の医	薬品です。			
調剤	医薬品を処方箋通りに揃え		左 な ひょく 徳 刻ら	Eの流切れ海地の下、一字切明内に加大等を与復利円(2回せで)できる加大等です			
リフィル処方箋調剤技術器	症状が女正している思有で	さんについて、医師の処方により、	、医師及び楽剤	雨の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用(3回まで)できる処方箋です。 			
	調剤基本料1		45点				
	調剤基本料2		29点				
調剤基本料	調剤基本料3 口			 保険薬局で調剤する場合の基本点数です。			
(処方箋受付1回につき)	脚別奉本科3			PARAMA CONTROL VERTINIA C 7 6			
	特別調剤基本料						
В		- 7111					
複数の保険医療機関から交付された処方箋を同時にまとめて受け付けた場合 (当該処方箋のうち、受付が2回目以降の調剤基本料は、処方箋受付1回につき減算)			所定点数の 100分の80				
ア 妥結率が50%以下							
イ 妥結率、取引に係る状況並			所定点数の 100分の50				
ウ かかりつけ機能に係る業務を1年間未実施の場合(1月に600回以下の薬局は除く) (ア、イ、ウのいずれかに該当する薬局は、処方箋受付1回につき調剤基本料の減算)			1007,000				
分割調剤(長期保存の困難性等)(1分割調剤につき(2回目以降))			5点	医薬品の保存が困難な場合等の理由によって、複数回に分けて調剤することです。			
分割調剤(後発医薬品の試用時		目の調剤に限り))		先発医薬品を後発医薬品に変更調剤する場合に、後発医薬品を試しに服用するため数日分を調剤することです。			
	イ 地域支援体制加算1 ロ 地域支援体制加算2		32点	で間・休日対応等の地域支援の実績を前提とし、一定時間以上の開局や医薬品の備蓄品目数に加え、薬学的管理・指導や薬物療法の安全性向上のための事例報告や副作用報告体制の整備がされ、地域支援に積極的に貢献するための一定の体制を整えている薬局に対して加算される点数です。			
地域支援体制加算	ロ 地域支援体制加算2 ハ 地域支援体制加算3						
(処方箋受付1回につき)	二 地域支援体制加算4		32点				
	特別調剤基本料Aを算定し	している場合	所定点数の 100分の10				
連携強化加算		5点	災害や新興感染症の発生時等における医薬品供給や衛生管理に係る対応など、地域において必要な役割を果たす				
	イ 後発医薬品調剤体制力	加質1 80%に上	21点	ことができる体制を整備している場合に加算される点数です。			
後発医薬品調剤体制加算	口 後発医薬品調剤体制		21点	1			
(規格単位数量の割合)	ハ 後発医薬品使用体制力	加算3 90%以上		後発医薬品への変更調剤可能な体制を整え、後発医薬品の使用について、一定の実績のある薬局に対して加算される点数です。			
(処方箋受付1回につき)	特別調剤基本料Aを算定し	している場合	所定点数の 100分の10				
	① 後発医薬品の規格単位	位数量の割合が50%以下	1007010				
後発医薬品減算		位数量の割合の定期報告が未実					
	施の場合 ①②のいずれかに該当の場合(処方箋の受付回数が1月に		5点減算				
	600回以下の薬局は除く等)						
	イ 在宅薬学総合体制加算1		15点	緊急時等の開局時間以外に在宅業務に対応できる体制等を整備している場合に加算される点数です。 加算1の体制を整備したうえで、さらに医療用麻薬の備蓄や無菌製剤処理又は、小児在宅医療に対応することが出 来る体制を整備している場合に加算される点数です。			
在宅薬学総合体制加算 (在宅患者等)	口 在宅薬学総合体制加算2		50点				
	特別調剤基本料Aを算定している場合		所定点数の				
	医療DX推進体制整備加算1 60%以上		100分の10	 オンライン資格確認により取得した患者さんの診療・薬剤情報を調剤に活用できる体制を有し、マイナ保険証の利用			
医療DX推進体制整備加算 (月1回に限り)	X推進体制整備加算 医病力X####################################			率について一定の実績があり、電子処方箋などにも対応できる体制を有し、調剤したすべての調剤結果を電子処方			
	医療DX推進体制整備加算	草3 25%以上	6点	箋管理サービスに登録している場合に加算される点数です。 			
薬剤調製料 内服薬(浸煎薬及び湯薬を除く)	(1剤につき 3剤分まで)		24点				
屯服薬(剤数にかかわらず)	(1),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		21点				
浸煎薬(1調剤につき、3調剤ま			190点				
	イ 7日分以下の場合 ロ 8日分以上28日分以下の場合		190点	 薬剤師が医薬品を処方箋通りに揃える行為の点数です。処方箋に記載されている医薬品の種類(内服薬・注射薬・ 外用薬等)、日数、剤形(散剤、液剤)等によって、計算方法が定められています。			
湯薬	(1)7日目以下の部分		190点				
(1調剤につき、3調剤まで)	(2)8日目以上の部分	分(上記点数+1日分につき)	10点				
といま/3回か(8日) しししょうよ	ハ 29日分以上の場合		400点				
注射薬(調剤数にかかわらず) 外用薬(1調剤につき、3調剤ま	で)		26点	1			
内服用滴剤(1調剤につき)			10点				
	イ 中心静脈栄養法用輸液 6歳未満の乳幼児の場合を除く						
無菌製剤処理加算		6歳未満の乳幼児の場合 6歳未満の乳幼児の場合を除	137点	4			
(注射薬のみ) (1日につき)	ロ 抗悪性腫瘍剤	6歳未満の乳幼児の場合	147点	注射薬を無菌環境で、調剤した場合に加算される点数です。			
	/) 麻薬 6歳未満の乳幼児の場合を除く		く 69点				
麻薬加算(1調剤につき)		6歳未満の乳幼児の場合	137点				
麻条川昇(1調剤につき) 向精神薬加算(1調剤につき))		70点	麻薬が含まれている場合に加算される点数です。			
党職利原料加算(1調剤につき)				向精神薬等の医薬品が含まれている場合に加算される点数です。			
毒薬加算(1調剤につき)			8点				
時間外加算・特例(基礎額※)			100%加算	深夜、休日を除いた薬局の開局時間以外の時間帯又は、夜間の救急医療対応において調剤した場合に加算される 点数です。			
休日加算(基礎額※)			140%加算	深夜を除いた休日において調剤した場合に加算される点数です。日曜日及び祝日、年末年始(1月2日、3日、12月			
				29日、30日、及び31日は休日として扱う)。			
深夜加算(午後10時~午前6時)(基礎額※)				開局時間以外の(深夜:午後10時~午前6時)において調剤した場合に加算される点数です。			
夜間•休日等加算(処方箋受	付1回につき)		40点	開局時間の時間帯で、午後7時(土曜日は午後1時)から午前8時までの間(深夜及び、休日を除く)において調剤した場合に加算される点数です。			
自家製利加算	予製又は錠剤を分割する場合		所定点数の	に場合に加昇される点数です。 医師の指示に基づき、容易に服用できるよう特殊な工夫で調剤した場合に加算される点数です。(安定剤、溶解補助剤、懸濁剤等必要と認められる添加剤の使用、ろ過、加温、滅菌等)			
	イ (1) 錠剤等の内服薬(7日分につき)		100分の20				
	内服薬 (2) 錠剤等の屯服薬(1調剤につき) 及び		20点				
	屯服薬 (3) 液剤(1調剤につき)		45点				
	(1) 軟・硬膏剤、パップ剤、坐剤等(1調剤につき) (2) 点眼剤、点鼻・点耳剤等(1調剤につき)		90点				
	11 外用薬 (2) 点眼剤、点鼻 (3) 液剤(1調剤に		75点				
			所定点数の				
	予製剤		100/\000	2種類以上の薬剤、液剤、散剤もしくは顆粒剤又は軟・硬膏剤)を計量し、混合して内服薬もしくは屯服薬又は外用薬			
計量混合調剤加算	イ 液剤(1調剤につき) ロ 散剤、顆粒剤(1調剤)	こつき)	35点	を調剤した場合に加算される点数です。			
	ハ 軟・硬膏剤(1調剤につき)		80点	4			

薬学管理料				
	1 内目	仮薬(1剤につき、3剤まで)		
		7日分以下の場合	4点	
調剤管理料	_	8日分以上14日分以下の場合		患者さんからの聞き取り、情報収集をしたうえで、処方内容の薬学的分析、調剤設計等と、薬歴の管理等を行ったち
調 州官理杯 (処方箋受付1回につき)	/\	15日分以上28日分以下の場合	50点	合の点数です。
		29日分以上の場合	60点	
	2 1以	以外の場合 (大学芸術学院 - 15.7 1 - 2 11.4 2 11.4 2 11.4 2 11.4 2 11.4 2 11.4 2 11.4 2 11.4 2 11.4 2 11.4 2 11.4 2 11.4 2	4点	
重複投薬・相互作用等防止加算 4 残薬調整に係るもの以外の場合 □ 殊薬調整に係るもの以外の場合				薬剤服用歴の記録(薬歴簿)等の参照や残薬の確認をして、重複投薬又は相互作用、アレルギー反応の防止の目的、又は残薬調整の為に処方医に処方内容を確認し処方内容が変更された場合に加算される点数です。
口 残楽調整に係るものの場合 イ 初めて処方箋を持参した場合			20///	
調 利管理加算			3点	複数の医療機関から6種類以上の内服薬が処方されている患者の服薬中の薬剤について、服薬状況等の情報を 元的に把握し、必要な薬学的管理を行った場合の初回と処方変更時に加算される点数です。
				オンライン資格確認の導入等の施設基準を満たし、医療情報の取得・活用の体制が整備されている保険薬局で調
医療情報取得加算(1年に1回に限り)			1点	した場合に加算される点数です。
		原則3月以内に処方箋を持参した患者		おきないに処方された医薬品の名称、形状、用法用量、効能効果、副作用、後発医薬品等の情報を提供し、患者さんに処方された医薬品の名称、形状、用法用量、効能効果、副作用、後発医薬品等の情報を提供し、患者さんの服薬状況、残薬状況、後発医薬品の適口・使
服薬管理指導料 (処方箋受付1回につき)	_	' (手帳を提示しない患者は、59点を算定)		
		2 1以外の患者に対して行った場合 介護老人福祉施設等に入所している患者		
	3 (月	3 (月4回に限り)		
		ナンライン服薬指導等の場合を含む		のために必要な服薬指導を行った場合の点数です。また、重複投薬、相互作用の確認をし、お薬手帳等で情報も持続に必要な服薬指導を行った場合の点数です。また、重複投薬、相互作用の確認をし、お薬手帳等で情報も持続に必要な服薬指導を行った場合のに必要な服薬を使用されています。
	4 情辛	報通信機器を用いた服薬指導を行った場合 原則3月以内に処方箋を持参した患者		供しています。
	1	(手帳を提示しない患者は、59点を算定)	45点	
		イ以外の患者に対して行った場合	59点	
麻薬管理指導加算			22点	麻薬の服用に関して、服薬状況、残薬状況、保管状況、効果、副作用の有無等を確認し、適切な取扱い方法などの
	/ #F+	に処方された場合		説明をした場合に加算される点数です。
特定薬剤管理指導加算1	_	ミールのされに場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合		特に安全管理が必要な医薬品に関して体調の変化等を確認し、必要な説明をした場合に加算される点数です。 (副作用の初期症状等を確認し適切な服薬指導をすることによって、重篤な副作用を未然に防ぐのに役立ちます。
	- 141	大米方面の 必要と目的の日本と目 フに物口	O M	連携充実加算を届け出た保険医療機関で抗悪性腫瘍剤を注射された患者さんに、保険薬局で患者さんのレジメン
特定薬剤管理指導加算2()	月1回ま	で)	100点	(治療内容)の情報を活用し、副作用対策の説明や支持療法に係る薬剤の服薬指導等を実施するとともに、調剤後
			100,5	に電話等により服薬状況、抗悪性腫瘍剤の副作用の有無を確認し、その内容を文書等により医療機関に情報提供 した場合に加算される点数です。
特定薬剤管理指導加算3		イ 安全性に関する情報提供を行った場合	5点	医薬品リスク管理計画に基づく指導や患者さんが医薬品を選択するために、長期収載品の選定療養費制度や医乳
(当該品目に関して、	- REI (1 \	ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合	10点	医薬品リスク官理計画に基つく指導や患者さんが医薬品を選択するために、長期収載品の選定療養資制度や医薬 品の供給等に係る説明を行った場合に加算される点数です。
初回処方時1回				6歳未満の乳幼児が安全、容易に服用できるように説明した場合に加算される点数です。説明した要点をお薬手帳
乳幼児服薬指導加算(6歳)	未満)			し、最大には、大きな、一般に、「なって、これがらって、これがらって、これがらって、これがらって、これがらって、これがいるこれがいって、これがいるこれがいって、これがいるこれがいる。
小児特定加算			350点	医療的ケア児(児童福祉法第56条の6第2項に規定する障害児)である患者さん、又はその家族等に必要な薬学
				管理及び指導を行った場合に加算される点数です。
吸入薬指導加算(3月に1回	(に限り)		30点	喘息又は慢性閉塞性肺疾患の患者さんに、医師の求めなどに応じて吸入薬の使用方法について、文書での説明し 加え、練習用吸入器等を用いた実技指導を行い、その指導内容を処方医に情報提供した場合に加算される点数で
WW 1914 W 1917 (- 77) - 1	11 -124 77		00///	す。
服薬管理指導料(特例)		手帳の活用実績(処方箋受付1回につき)		適切な手帳の活用実績が相当程度あると認められない保険薬局が算定する点数です。
服薬管理指導料(特例)		つけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応 箋受付1回につき)	59点	かりつけ薬剤師指導料等を算定している患者さんにおいて、やむを得ない事情により、あらかじめ患者さんが選びしたかかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が、必要な指導等を対応した場合に算定される点数です。
	(処力:	EXPITEIC 2C/	00///	
				患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でプライバシーに配慮した場所で
かかりつけ薬剤師指導料(処方質				患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でプライバシーに配慮した場所で 球が変ー元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に配載し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ
かかりつけ業剤師指導料(処方館			76点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でプライバシーに配慮した場所で 薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状、 等を手帳に配載し処力医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤師以外が対応する場合があります。
かかりつけ薬剤師指導料(処方館 麻薬管理指導加算	箋受付1[回につき)	76点 22点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で 薬状沢を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に影戦し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様
かかりつけ業剤師指導料(処方館	箋受付1[76点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でプライバシーに配慮した場所で 薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に配載し処力医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤師以外が対応する場合があります。
かかりつけ薬剤師指導料(処方館 麻薬管理指導加算	箋受付1[イ新 [†] ロ保障	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合	76点 22点 10点 5点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で 薬状沢を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に影戦し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3	箋受付1[イ新 [†] ロ保障	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合	76点 22点 10点 5点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でプライバシーに配慮した場所で 薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に配載し処力医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算1』と同様
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、	箋受付1[イ新 [†] ロ保 [®] 月1回ま	回につき) こに処方された場合 変薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で)	76点 22点 10点 5点 100点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でプライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に記載し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算1』と同様
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3)	養受付1[イ新 [†] ロ保 [®] 月1回ま ⁻ こ限り)	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合	76点 22点 10点 5点 100点 5点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に配載し処力医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算1』と同様
かかりつけ薬剤師指導料(処方部 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回(養受付1[イ新 [†] ロ保 [®] 月1回ま ⁻ こ限り)	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合	76点 22点 10点 5点 100点 5点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でプライバシーに配慮した場所で 薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳(に動態し処力医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算1』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算2』と同様
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2(」 特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回「 乳幼児服薬指導加算(6歳)	箋受付1[イ新介 ロ保原 月1回ま に限り) 未満)	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 12点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で 薬状沢を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に転載し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算2』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算2』と同様
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回	養受付1[イ新が ロ保限 月1回ま に限り) 未満)	回につき) 二に処方された場合 (変薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 (で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 350点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で 薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に転銭し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外見を加算』と同様 服薬管理指導料の『以免薬指導加算』と同様
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳2 小児特定加算	養受付1[イ新が ロ保限 月1回ま に限り) 未満)	回につき) 二に処方された場合 (変薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 (で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 350点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で 薬状沢を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回	を受付1[イ 新加 日本	回につき) 二に処方された場合 (変薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 (で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合	76点 22点 10点 5点 100点 10点 12点 350点 30点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でプライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転送し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『列幼児服薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『列幼児服薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『の入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『の入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『の大薬指導加算』と同様
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回	を受付1[イ 新加 日本	回につき) にに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき)	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 35点 10点 291点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『内特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様
かかりつけ薬剤師指導料(処方館 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回(乳効児服薬指導加算(6歳ま 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(例	 3 3 4 4 4 4 4 5 6 7 7 	回につき) こに処方された場合 灸薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 35点 10点 291点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『の人薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬は砂血質』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬は砂血質』と同様 服薬管理が関難な患者さんのかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等の保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険に場合関い薬管理を行い、その結果を保険に場合関い薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、処
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回	を	回につき) こに処方された場合 (変薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに)	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 35点 12点 350点 30点 291点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外党特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『の及薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『の以及薬指導加算』と同様 悪薬管理指導料の『小児な変化・大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、
かかりつけ薬剤師指導料(処方館 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回(乳効児服薬指導加算(6歳ま 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(例	を	回につき) こに処方された場合 灸薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 35点 12点 350点 30点 291点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転送しか方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『内特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸持定加算』と同様 服薬管理指導料の『吸持定加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 悪者さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険環機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが思難な患者さんに対して、必 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが思難な患者さんに対して、必 予度に治療との必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の「解そ得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種に
かかりつけ薬剤師指導料(処方館 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回(乳幼児服薬指導加算(6歳 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(例	 (基準) (本) (本)<td>回につき) こに処方された場合 (変薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに)</td><td>76点 22点 10点 5点 100点 10点 12点 350点 291点 385点 385点 385点 385点 385点 385点 385点</td><td>患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『いりに医が地域包括診療料・地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険に場合物、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さんの必要性の企業が実験に対した。別様と得たた。とが国難な患者さんに対して、タラ医に治療と投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、タ方医に治療との要性及び服薬管理で気る支援の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種以上の内服薬の限用時点ごとの一包化及び必要な服実指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に当該内服薬の投与日数に応じて算定される点数です。</td>	回につき) こに処方された場合 (変薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに)	76点 22点 10点 5点 100点 10点 12点 350点 291点 385点 385点 385点 385点 385点 385点 385点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『いりに医が地域包括診療料・地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険に場合物、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さんの必要性の企業が実験に対した。別様と得たた。とが国難な患者さんに対して、タラ医に治療と投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、タ方医に治療との要性及び服薬管理で気る支援の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種以上の内服薬の限用時点ごとの一包化及び必要な服実指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に当該内服薬の投与日数に応じて算定される点数です。
かかりつけ薬剤師指導料(処方館 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回(乳効児服薬指導加算(6歳ま 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(例	 変受付1[イ新介保 月1回まった に限り) 未満) 1 (月 イロ 企設連 	回につき) にに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合	76点 22点 10点 5点 100点 10点 12点 350点 291点 385点 385点 385点 385点 385点 385点 385点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転送しか方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸持定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 と書さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師がで業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は実施等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は実施等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが患患者さん同対して、処方医に治療上の必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種以上の内服薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に動質が発見と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 介護を入福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(が 外来服薬支援料	 変受付1[イ新介保 月1回まった に限り) 未満) 1 (月 イロ 企設連 	回につき) にに処方された場合 検薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで)	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 350点 30点 34点 240点 50点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 悪薬管理指導料の『小児大き加算』と同様 患者さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて業免の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 の場では、また、また、また、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(が 外来服薬支援料	養受付1[イ 新介 (回につき) にに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り)	76点 22点 10点 5点 100点 12点 350点 30点 291点 185点 240点 50点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『内特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸持定加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理が関難な患者さんのようには調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が関難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険療機関、情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが更な患者を持たが、との結果を保険が最優関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが開鍵な患者さんに対して、処方医に治療上の必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の「解を得た」で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種以上の内服薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に急数内服薬の股与日数に応じて算定される点数です。 介護を人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 介護を人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。
かかりつけ薬剤師指導料(処方館 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2() 特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、初回処方時1回に 乳効児服薬指導加算(6歳ま 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(例		回につき) 二に処方された場合 金藻剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること	76点 22点 10点 5点 100点 12点 350点 30点 291点 185点 240点 50点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『内代特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『の入薬指導加算』と同様 悪管理指導料の『の入薬指導加算』と同様 悪著管理が困難な患者さん又は18節線料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服業管理を行い、その結果を保険に機関に「情報提供した場合の点数です。 季種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、処方医に治療上の必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種以上の内服薬の服用時点ことの一包化及び必要な服業指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に力医に対して、収入医さる服薬が関係を関係の要性及び服薬管理を支援の必要性の了解を得た上で、2割以上の内服薬又は1剤で3種以上の内服薬の服用はことの一包に及び必要な銀業指導を行った場合に加算される点数です。 介護老人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 介護老人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2() 特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(が 外来服薬支援料	 業受付1[口のまずのでは、 に限りのでは、 に限りのでは、 では、 では、	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで)	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 12点 350点 30点 30点 291点 185点 240点 50点 125点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『内特定加算』と同様 患者さんのかかりつけをが地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にで理した場合や、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬管理を行い、その結果を保険療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、人方医に治療しの必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の了解発得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種以上の内服薬の服用時点ことの一包化及び必要な概薬指導を行った、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に急険の服薬の服日に応じて算定される点数です。 介護を人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 信種類以上の内服薬を服用している患者さんの服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 信種類以上の内服薬を服用している患者さんの服薬管理の実施が、医療機関を受診している患者さんの服薬情報を一元的に把握し、重複技薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複技薬等の解消に係る提案を行う取制についる数です。
かかりつけ薬剤師指導料(処方 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(が 外来服薬支援料	 業受付1[イ新保保 月月1回ま に限り) 1 (月イロ 及連 1 (月イロ な) 	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) 収外の場合(3月に1回まで) 収殊患者に対して行った場合	76点 22点 10点 5点 100点 10点 12点 350点 30点 291点 185点 240点 125点 110点 90点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりバーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『切り・現特定加算』と同様 服薬管理指導料の『切り・現特定加算』と同様 服薬管理指導料の『収入薬指導加算』と同様 服薬管理が国難な患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険に療機関に情報提供した場合の点数です。 「理した場合や、患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険療機関に情報提供した場合の必要でよる以は皮が高が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険療機関に情報提供した場合の必要では及び販薬管理に係る支援の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種以上の内服薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に対して、処方とに治療上の必要を投与されている患者となりは感覚の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬で取は1剤で3種以上の内服薬の服用は高ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に加算される点数です。 「種類以上の内服薬を服用している患者さんに薬剤師が文書を用いて処方医へ提案し2種類以上減少した場合の点数です。(「电源薬、服用・週間以内の内服薬を除く)(複数の医療機関を受診している患者とんの重複投薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬情報を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取割についての点数です。
かかりつけ薬剤師指導料(処方語 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3 (当該品目に関して、 初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(分 外来服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料	 変要付1(1 に対しては、 1 に対しには、 1 に対しては、 1 に対し、 1 に対しには、 1 に対し、 1 に対し、 1 に対し、 1 に対し、 1 に対し、 1 に対	回につき) にに処方された場合 金薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) 不以外の場合(3月に1回まで) 不規則者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合	76点 22点 10点 5点 10点 5点 10点 12点 350点 30点 291点 185点 240点 125点 110点 90点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『内特定加算』と同様 患者さんのかかりつけをが地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にで理した場合や、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬管理を行い、その結果を保険療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、人方医に治療しの必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の了解発得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種以上の内服薬の服用時点ことの一包化及び必要な概薬指導を行った、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に急険の服薬の服日に応じて算定される点数です。 介護を人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 信種類以上の内服薬を服用している患者さんの服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 信種類以上の内服薬を服用している患者さんの服薬管理の実施が、医療機関を受診している患者さんの服薬情報を一元的に把握し、重複技薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複技薬等の解消に係る提案を行う取制についる数です。
かかりつけ薬剤師指導料(処方言 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算1 特定薬剤管理指導加算2() 特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、 現幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(例 外来服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料	 変要付1(1 に対しては、 1 に対しには、 1 に対しては、 1 に対し、 1 に対しには、 1 に対し、 1 に対し、 1 に対し、 1 に対し、 1 に対し、 1 に対	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) 収外の場合(3月に1回まで) 収殊患者に対して行った場合	76点 22点 10点 5点 100点 10点 12点 350点 30点 291点 185点 240点 125点 110点 90点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりバーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転載し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『切り根薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 ときさんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、処方医に治療上の必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種以上の内服薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合はしたの無薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に力解棄の概要の服用している患者とんに薬剤師が文書を用いて処方医へ提案と2種類以上減少した場合の介護を混るにも関いとないです。(セ服薬、服用・週間以内の内服薬を除く)検数の医療機関を受診している患者さんの重複投薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬が報を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取制を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取割についての点数です。
かかりつけ薬剤師指導料(処方語 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(分 外来服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 個別後薬剤管理指導料 (月1回に限り) に宅島者訪問薬剤管理指導料 (月4回(末期悪性腫瘍患者)注 対による麻薬の投与が必要な患	Table Ta	回につき) にに処方された場合 金薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) 不以外の場合(3月に1回まで) 不規則者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 12点 350点 30点 291点 185点 240点 125点 110点 90点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に訪試処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 患者さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて業務を向息数です。とある場合によりは実放等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して火力、反氏治療上の必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に対したの内服薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に動質なる点数です。 介護を人福祉施設等の職員と協働して、服薬・理のの服薬を除く) 複数の医療機関を受診している患者さんの重複投薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬情報を除く) 複数の医療機関を受診している患者さんの重複投薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬精を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取剤についての点数です。 地域支援体制加算の届出をしている保険薬局が、医療機関と連携して慢性心不全に関する治療薬やインスリン等糖尿病治療薬の適正使用の軽点から、医師の求めなどに応じて、調剤後も割作用の有無の確認や服薬指導等をい、その結果を処方医に情報提供した場合に加算される点数です。
かかりつけ薬剤師指導料(処方部 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(例 外来服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤質整支援料 (月4回(末期悪性腫瘍患者、注患 は、中心静脈栄養は測2回かつ	 変要付1(1) 月月1回末 1に限場りのでは、 1に限場りのでは、 1に限場りのでは、 1に限りのでは、 1に関するでは、 1には、 1には、	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) イ以外の場合(3月に1回まで) 収病患者に対して行った場合 性心不全患者に対して行った場合 ・建物診療患者が2人以上9人以下の場合	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 12点 350点 30点 291点 185点 34点 240点 125点 110点 90点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で 薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に転載し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理が国難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて 変化医動性の主義とない、その結果を保険 療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を扱うされている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが患患者を得した対して、処 療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類薬剤を投与されている患者との又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが起患者さんに対して、処 方医に治療上の必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤での種 以上の内服薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に 当該内服薬の股日数に応じて算定される点数です。 6種類以上の内服薬を服用している患者さんに薬剤師が文書を用いて処方医へ提案し2種類以上減少した場合の 点数です。(・中服薬、服用4週間以内の内服薬を除く) 複数の医療機関を受診している患者さんに薬剤師が文書を用いて処方医へ提案と種類以上減少した場合の 点数です。(・中服薬、服用4週間以内の内服薬を除く) 複数の医療機関を受診している患者さんの重複投薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬 移を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取れ についての点数です。(・中服・無の理とが、患を発力のとして、のの服薬 種を一元的に一定は、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取れ についての点数です。(を機関と連携して慢性の不全に関する治療薬ののがに係る。 通院が困難な在宅で療養を行っている患者さんがあ問する人を訪問する人を訪問する人を記述する人を訪問する人を訪問する人を記述する人を訪問する人を記述する人を訪問する人を記述する人を記述する人を訪問する人を記述する人を記述する人を訪問する人を記述する人を記述する人を記述する人を記述する人を記述する人を記述する人を記述する。 通院が困難なた宅で療養を行っている患者さんを訪問する人を記述する。 通院が困難なた宅で療養を行っている患者さんを訪問する人を関する。(・理解しと関すると関すると関する。 「健康としている患者なんを記述する、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは
かかりつけ薬剤師指導料(処方語 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、 初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(例 外来服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料	 変要付1[イ新保障 月月1回末 に限り) 1 (月イロ 機) 2 施度 1 (月イロ 機) 2 上の機 1 (日本) 2 単一 2 単一 3 1 3 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投方に取り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること イ以外の場合(3月に1回まで) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	76点 22点 10点 5点 100点 10点 12点点 350点 30点 291点 185点 240点 125点 110点 60点 60点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状等を手帳に転越し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 患者さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて理した場合や、患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、処方医に治療上の必要性及び服薬管理に係る接受を使の了解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種は上の内医薬の服用時点ととの一包に及び必要を服で了解を得た上で、2剤以上の内服薬では1剤で3種に入り、200円臓薬の服用時点ととの一位及び必要な概薬指導を行った場合のの服薬管理を支援した場合に加算される点数です。 (・位服薬、服用・2間以内の内服薬を除く) 複数の医療機関を受診している患者さんの重複投薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬情報を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取制についての最要を解り、医療機関と連携して慢性心不全に関する治療薬やインスリン等糖尿病治療薬の適正使用の軽点から、医師の求めなどに応じて、調剤後も副作用の有無の確認や服薬指導等をい、その結果を処方医に情報提供した場合に加算される点数です。
かかりつけ薬剤師指導料(処方部 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、 初回処方時1回「 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(例 外来服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤質理指導料 (月1回に限り) 在宅患者防間薬剤管理指導料 (月4回(末期悪性腫瘍患者、注患 大中心静脈栄養は測2回かつ	 変要付1(1 に限り) 月月1(回まごに表満) 1 に限りり 2 施設連(月イロ親) 2 単一 2 単一 3 1 及 	回につき) ごに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) イ以外の場合(3月に1回まで) 不病患者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合 ・建物診療患者が1人の場合 ごびと以外の場合 「びと以外の場合 「びと以外の場合	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 12点 350点 30点 291点 185点 34点 240点 125点 110点 90点 60点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で 薬状況を一元的、継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳(に就し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『内特定加算』と同様 服薬管理指導料の『内見た加算』と同様 服薬管理指導料の『内見を加算』と同様 服薬管理指導料の『内見を加算』と同様 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて 変化関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を扱うされている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者とんに対して、処 療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類薬剤を扱りされている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者とんに対して、処 療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類薬剤を関けられている患者とのと関いて薬剤を服用することの内服薬の服はに対して、処 の服薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合の 当該内服薬の服日に対いる患者とんに薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 6種類以上の内服薬を服用している患者とんに薬剤師が文書を用いて処方医へ提案し2種類以上減少した場合の 点数です。(・中服薬、服用4週間以内の内服薬を除く) 複数の医療機関を受診している患者さんの重複投薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬剤 を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った場合に加算される点数です。(複数の医療機関を受診している患者とんの産業を解のが、医療機関と連携して慢性心不全に関する治療薬やインスリン等 報を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行っている患者に、、、、薬医管理、服薬指導、服薬 を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った場合の点数です。(複数の医療機関を変診している患者とんの服薬 はずい民性心不全に関する治療薬やインスリン等 糖尿病治療薬の適正使用の観点から、医師の求めなどに応じて、調剤後も副作用の有無の確認や服薬指導、等 い、その結果を処方医に情報提供した場合に加算される点数です。 (建物に居住している患者さんを訪問する人数によって指導料は変わります。) 通院が困難な在宅で療養を行っている患者さんを訪問する人数によって指導料は変わります。)
かかりつけ薬剤師指導料(処方部 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、初回処方時1回1 乳幼児服薬指導加算(3月に1回 乳幼児服薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(が が水服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤管理指導料 (月1回に限り) 在宅患者訪問薬剤管理指導料 (月4回(末期悪性腫瘍患者注 (月4回(末期悪性腫瘍患者注 (月4回(末期患者性腫瘍患者注 (月4回(末期患者 (月4回(末期患者 (月4回(末))))))))))))))))))))))))))))))))))))	 変 イ新保財 月月1回末 11に限りり 2 施設 1 (月 イロ糖) 1 (月 イロ糖) 2 日報 1 (月 イロ部様) 1 (日 日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 (投与り数が7日又はその端数を増すごとに) 42日分以上の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) イ以外の場合(3月に1回まで) 尿病患者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合 一建物診療患者が1人の場合 こびと以外の場合 こびと以外の場合	76点 22点 10点 5点 100点 10点 12点点 350点 30点 291点 185点 240点 125点 110点 60点 60点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でプライバシーに配慮した場所で 薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に記し処力医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸染薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸染薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸染薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸染薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸染薬性療加算』と同様 患者さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理科等が含まれます。 患者さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等の薬学の服薬中の医薬品を一包化等にて 理した場合や、患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険療機関に情報提供した場合の点数です。 力医に治療上の必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種が 以上の内服薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に 当該内服薬の股月時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に 会験の医療機関を受診している患者さん点象です。 介護名人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 介護名人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 企業を服用・週間以内の内服薬を除く) 企業の医療機関を受診している患者さんの重複な薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬情報を除くいての自動です。 地域支援体制加算の届出をしている患者さんを訪問する人数によって指導料に変しの点数です。 地域支援体制加算の届出をしている患者を行った場合に加算される点数です。 (建物に居住している患者を必ず的管理指導料合わせて保険薬剤師1人につき週40回まで) 通院が困難な存在で療養を行っている患者さんを訪問する人数によって指導料に変しる点数です。 (建物に居住している患者を必ず的では、残薬の有無等の薬学的管理指導を行った場合の点数です。 通院が困難な存在でで療養を行っている患者と必ず的管理指導料合わせて保険薬剤師1人につき週40回まで)
かかりつけ薬剤師指導料(処方語 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、 初回処方時1回 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(例 外来服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料	 業 イロ県リリカイ (日本) イロ県リリカイ (日本) 1 (月イロ港) 1 (月イロ港) 1 (日本) 	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 (付1回につき) 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) イ以外の場合(3月に1回まで) 収済患者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合 一建物診療患者が1人の場合 ・建物診療患者が2人以上9人以下の場合 にび2以外の場合 ・でと以外の場合 ・でといる。	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 12点 350点 30点 291点 185点 34点 240点 125点 110点 90点 60点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でプライバシーに配慮した場所で薬状況を一元的・継続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状育を手帳に応配し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『小児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『吸染薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸染薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の「吸染薬剤管理指導加算」と同様 服薬管理指導料の「吸染薬剤管理指導加算」と同様 を含さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の高数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理科等が含まれます。 理した場合や、患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険療機関に情報提供した場合の点数です。 分類医に治療上の必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種以上の内服薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合は一般薬・服用はている患者さん。素の主との一包に及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に力解薬の服実の授与自数に防じて写算定される点数です。 介護老人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 企業を服用・2間以内の内服薬を除く) 企業を展別と受診している患者さんの重複な薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬情報を除く)で、他服薬、服用・2週間以内の内服薬を除く) で、個別なの医療側を受診している患者さんを診問すると、医療機関と連携して慢性心不全に関する治療薬やインスリン等糖尿病治療薬の適正使用の観点から、医師の求めなどに応じて、調剤後も副作用の有無の確認や服薬指導等をい、その結果を処方医に情報提供した場合に加算される点数です。 (建物に居住している患者さんを診問する人数によって指導料は変わります。) (1~3及び在宅患者オンライン薬剤管理指導料合わせて保険薬剤師1人につき週40回まで)
かかりつけ薬剤師指導料(処方語 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、 初回処方時1回1 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(が が外来服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤管理指導料 (月1回に限り) 在宅患者訪問薬剤管理指導料 (月4回は尿り) 在宅患者が同薬剤管理指導料 (月4回は尿り) 在宅患者が同薬剤管理指導料 (別はよ心解薬の投与が必要な患 月8回まで 別による解薬の投与が必要な患 月8回まで 日1年限力 (別はよの発薬の力力の薬剤管理 (別はよの発薬の力力の薬剤管理 (別はよの方の)まで (別はよの方の)まで (別はよの方の)まで (別はよの方の)を (別はよの方の)まで (別はよの方の)を (別はよの)を (別はなの)を (別はなの)を	 変 イ新保財 口回 一環 口回 一環 1 (月 イロ糖() 1 (日本) 1 (日本)<td>回につき) こに処方された場合 変薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) 不成患者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合 ・建物診療患者が1人の場合 ・プき) 者オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 を受付1回につき)</td><td>76点 22点 10点点 5点点 100点 5点点 30点 30点 291点 185点 34点 240点 125点 110点 90点 60点 320点 290点</td><td>患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で 業状況を一元的・総続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に記載し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤筋以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬は海が無料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険に 療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自然を関いて薬剤を服用することが困難な患者とがに対して、 が展した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自然を関いて薬剤を限力することが困難な患者とがに対して、 が展したの内服薬の服用時点ごとの一つ包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に 当該内服薬の投与日数に応じて算定される点数です。 介護を人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 危難以上の内服薬を服用している患者さんに薬剤師が文書を用いて処方医に類される点数です。 危難以上の内服薬を服用といる患者さんの重複検薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬情報を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取割 についての点数です。 健性と一個服薬・服用・週間以内の内服薬を除り、医療機関と連携して慢性心不全に関する治療薬やインスリン等 糖尿病治療薬の適正使用の観点から、医師の求めなどに応じて、調剤後も副作用の有無の確認や服薬指導等を い、その結果を処方医に情報提供した場合に加算される点数です。 通院が困難な在宅で療養を行っている患者さんを訪問又は情報通信機器を用いて、薬屋管理、服薬指導、服薬支援、薬剤服用状況、薬剤管理、脱薬が自なの素を確認し適切な取扱い方法を説明、処産を ・、そのは無力に関して、原薬が関や効果、副作用の有無等の薬学的管理指導を行った場合の点数です。 通院が困難な在宅で療養を行っている患者とんを訪問する人数です。 通院が困難な在宅で療養を行っている患者とんを訪問する人数では、 ・ では、 ・ には、 ・ では、 ・ では、 ・</td>	回につき) こに処方された場合 変薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) 不成患者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合 ・建物診療患者が1人の場合 ・プき) 者オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 を受付1回につき)	76点 22点 10点点 5点点 100点 5点点 30点 30点 291点 185点 34点 240点 125点 110点 90点 60点 320点 290点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で 業状況を一元的・総続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に記載し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤筋以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬は海が無料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の点数です。この場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険に 療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自然を関いて薬剤を服用することが困難な患者とがに対して、 が展した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自然を関いて薬剤を限力することが困難な患者とがに対して、 が展したの内服薬の服用時点ごとの一つ包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬管理を支援した場合に 当該内服薬の投与日数に応じて算定される点数です。 介護を人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 危難以上の内服薬を服用している患者さんに薬剤師が文書を用いて処方医に類される点数です。 危難以上の内服薬を服用といる患者さんの重複検薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬情報を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取割 についての点数です。 健性と一個服薬・服用・週間以内の内服薬を除り、医療機関と連携して慢性心不全に関する治療薬やインスリン等 糖尿病治療薬の適正使用の観点から、医師の求めなどに応じて、調剤後も副作用の有無の確認や服薬指導等を い、その結果を処方医に情報提供した場合に加算される点数です。 通院が困難な在宅で療養を行っている患者さんを訪問又は情報通信機器を用いて、薬屋管理、服薬指導、服薬支援、薬剤服用状況、薬剤管理、脱薬が自なの素を確認し適切な取扱い方法を説明、処産を ・、そのは無力に関して、原薬が関や効果、副作用の有無等の薬学的管理指導を行った場合の点数です。 通院が困難な在宅で療養を行っている患者とんを訪問する人数です。 通院が困難な在宅で療養を行っている患者とんを訪問する人数では、 ・ では、 ・ には、 ・ では、 ・
かかりつけ薬剤師指導料(処方部 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3((当該品目に関して、 初回処方時1回1 乳幼児服薬指導加算(3月に1回 乳幼児服薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(が が水服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤管理指導料 (月1回に限り) 在宅患者訪問薬剤管理指導料 (月4回(末期悪性腫瘍患者(注) (月4回(末期悪性腫瘍患者(注) (月4回(末期悪性腫瘍患者(注) (月4回(末) (変 イ新保財 口回 一環 口回 一環 1 (月 イロ糖() 1 (日本) 1 (日本)<td>回につき) こに処方された場合 変薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) 不成患者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合 ・建物診療患者が1人の場合 ・プき) 者オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 を受付1回につき)</td><td>76点 22点 10点点 5点点 100点 5点点 30点 30点 291点 185点 34点 240点 125点 110点 90点 60点 320点 290点</td><td>患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で業状況を一元的・総続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上て、残薬の状等を手帳に記載し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬は海水神薬」と同様 服薬管理が関数は患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて業機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん実は自ら被包を開いて薬剤を関することが困難を患者とがに対して、方医に治療と必必要性及が服薬管理に係る支援の必要性なの解薬を得たして、2割以上の内服薬のといて算定される点数です。 「会性人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 「金種類以上の内服薬を服用している患者さんに薬剤師が文書を用いて処方医に治療とりといる患者とがに対して、原薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 「種類以上の内服薬を服用している患者さんに薬剤師が文書を用いて処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行った場合に加算される点数です。 「種類以上の内服薬を服用している患者さんの服薬情報を行った場合に加算される点数です。 「種類以上の内服薬を服用している患者さんの原薬情消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬情報を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取場を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取場が変更です。(健康の要は自然の表表を解え、生物に関して、原薬やインスリン等糖尿病治療薬の適正使用の観点から、医師の求めなどに応じて、調剤後も副作用の有無の確認や服薬指導等をい、その結果を処方医に情報提供した場合に加算される点数です。 「健物に居住している患者さんを訪問する人般によって指導料は変わります。) 「連携に関連な在宅で療養を行っている患者との薬剤が関連指導料合わせて保険薬剤師1人にごき週40回まで) 「本でが、薬剤を開発している患者とんを訪問する人物によって指導料は変わります。) 「連携に関係を関係して、薬剤の薬剤が、、薬剤に関係を関係の表質を関係的、、薬剤に関係と関係の表質を関係の表質を関係を関係の表質を関係を関係的、、表質を関係を関係の表質を関係を関係して、表されて、表質を関係を関係して、表されて、表質を関係を関係して、表されて、表質を関係して、表質を関係を関係して、表されて、表質を関係を関係して、表されて、表質を関係を関係を関係して、表述を関係を関係を関係を関係を関係して、表述を表述を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を</td>	回につき) こに処方された場合 変薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) 不成患者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合 ・建物診療患者が1人の場合 ・プき) 者オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 を受付1回につき)	76点 22点 10点点 5点点 100点 5点点 30点 30点 291点 185点 34点 240点 125点 110点 90点 60点 320点 290点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で業状況を一元的・総続的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上て、残薬の状等を手帳に記載し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ剤師以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬は海水神薬」と同様 服薬管理が関数は患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて業機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん実は自ら被包を開いて薬剤を関することが困難を患者とがに対して、方医に治療と必必要性及が服薬管理に係る支援の必要性なの解薬を得たして、2割以上の内服薬のといて算定される点数です。 「会性人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 「金種類以上の内服薬を服用している患者さんに薬剤師が文書を用いて処方医に治療とりといる患者とがに対して、原薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 「種類以上の内服薬を服用している患者さんに薬剤師が文書を用いて処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行った場合に加算される点数です。 「種類以上の内服薬を服用している患者さんの服薬情報を行った場合に加算される点数です。 「種類以上の内服薬を服用している患者さんの原薬情消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬情報を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取場を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う取場が変更です。(健康の要は自然の表表を解え、生物に関して、原薬やインスリン等糖尿病治療薬の適正使用の観点から、医師の求めなどに応じて、調剤後も副作用の有無の確認や服薬指導等をい、その結果を処方医に情報提供した場合に加算される点数です。 「健物に居住している患者さんを訪問する人般によって指導料は変わります。) 「連携に関連な在宅で療養を行っている患者との薬剤が関連指導料合わせて保険薬剤師1人にごき週40回まで) 「本でが、薬剤を開発している患者とんを訪問する人物によって指導料は変わります。) 「連携に関係を関係して、薬剤の薬剤が、、薬剤に関係を関係の表質を関係的、、薬剤に関係と関係の表質を関係の表質を関係を関係の表質を関係を関係的、、表質を関係を関係の表質を関係を関係して、表されて、表質を関係を関係して、表されて、表質を関係を関係して、表されて、表質を関係して、表質を関係を関係して、表されて、表質を関係を関係して、表されて、表質を関係を関係を関係して、表述を関係を関係を関係を関係を関係して、表述を表述を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を
かかりつけ薬剤師指導料(処方語 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に回処方時1回1 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 外水服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤管理指導料 (月4回に限り) 在宅患者防間薬剤管理指導料 (月4回による麻薬の投与が必要な患 対による麻薬の投与が必要な患 対による麻薬の投与が必要な患 利・配育脈栄養は週2回かつ 月を記者オンライン薬剤管理指 麻薬管理指導加算 在宅患者医療用麻薬持続対	 変 イ新保財 口回 一環 口回 一環 1 (月 イロ糖(関) 1 (日本) 1 (日本)<td>回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (3月に1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) 不成患者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合 ・建物診療患者が1人の場合 ・建物診療患者が2人以上9人以下の場合 はび2以外の場合 ・でき) 者オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 を受付1回につき) 加算(1回につき(訪問時)) ・でき)</td><td>76点 22点 10点 5点 10点 5点 10点 35点 30点 30点 291点 185点 34点 240点 125点 110点 90点 250点 320点 290点 290点 22点</td><td>語者さんから同意いただいた薬剤師がかかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で 等を手帳に記し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤節以外が対応する場合があります。 服業管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外皮薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定瀬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『以力、規密兼に関土に同様 患者さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の一般入棄指導加算」と同様 患者さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の自動です。この場合には副削基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 理した場合や、患者さん又は家族等の受望や医師の指示により、持参された服実中の医薬品を一包化等にて 理した場合や、患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険 機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者とA又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、処 方医に治療上の必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種 以上の内服薬の服用時にこなの一色化及必必要な服果指導を行った。患者さんの服薬管理を支援した場合 当該内服薬の限用時点にで算定される点数です。 介度を人福祉施設等の職員と協働して、服薬を型の支援や指導を行った場合に加算される点数です。(电服薬、服用4週間以内の内服薬を除く) 複数の皮療機関を受診している患者さんの重複性薬の解消を指すを行った場合に加算される点数です。(中臓薬、原料に下、薬煙管理、服薬指導、服薬 を一元的に担健し、重複性薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う についての点数です。 通際が困難な在宅で療養を行っている患者さんを訪問又は情報通信機器を用いて、薬煙管理、服薬指導、服薬支 援、薬剤服用は沢、薬剤管理、残薬の有無等の薬学的管理指導を行った場合の点数です。 通際が困難な在宅で療養を行っている患者とんを訪問又は情報通信機器を用いて、薬煙管理、服薬指導、服薬支 援、薬剤服用は別して、服薬状況や効果、副作用の有無等を確認し適切な取扱い方法を説明、処力医に情報提供した場合に加算される点数です。 (24)の、これに関して、服薬状況や効果、副作用の有無等を確認し適切な取扱い方法を説明、処力をに情報提供して、 建築の服用に関して、服薬状況や効果、副作用の有無等を確認し適切な取扱い方法を説明、の力を は、薬剤を用いて、薬産管理、原理を は、薬剤を開い、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の</td>	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (3月に1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) 不成患者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合 ・建物診療患者が1人の場合 ・建物診療患者が2人以上9人以下の場合 はび2以外の場合 ・でき) 者オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 を受付1回につき) 加算(1回につき(訪問時)) ・でき)	76点 22点 10点 5点 10点 5点 10点 35点 30点 30点 291点 185点 34点 240点 125点 110点 90点 250点 320点 290点 290点 22点	語者さんから同意いただいた薬剤師がかかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で 等を手帳に記し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 剤節以外が対応する場合があります。 服業管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外皮薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定瀬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『以力、規密兼に関土に同様 患者さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の一般入棄指導加算」と同様 患者さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療加算等を算定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業務の自動です。この場合には副削基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 理した場合や、患者さん又は家族等の受望や医師の指示により、持参された服実中の医薬品を一包化等にて 理した場合や、患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険 機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者とA又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、処 方医に治療上の必要性及び服薬管理に係る支援の必要性の了解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤で3種 以上の内服薬の服用時にこなの一色化及必必要な服果指導を行った。患者さんの服薬管理を支援した場合 当該内服薬の限用時点にで算定される点数です。 介度を人福祉施設等の職員と協働して、服薬を型の支援や指導を行った場合に加算される点数です。(电服薬、服用4週間以内の内服薬を除く) 複数の皮療機関を受診している患者さんの重複性薬の解消を指すを行った場合に加算される点数です。(中臓薬、原料に下、薬煙管理、服薬指導、服薬 を一元的に担健し、重複性薬の有無の確認等を行った上で、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行う についての点数です。 通際が困難な在宅で療養を行っている患者さんを訪問又は情報通信機器を用いて、薬煙管理、服薬指導、服薬支 援、薬剤服用は沢、薬剤管理、残薬の有無等の薬学的管理指導を行った場合の点数です。 通際が困難な在宅で療養を行っている患者とんを訪問又は情報通信機器を用いて、薬煙管理、服薬指導、服薬支 援、薬剤服用は別して、服薬状況や効果、副作用の有無等を確認し適切な取扱い方法を説明、処力医に情報提供した場合に加算される点数です。 (24)の、これに関して、服薬状況や効果、副作用の有無等を確認し適切な取扱い方法を説明、処力をに情報提供して、 建築の服用に関して、服薬状況や効果、副作用の有無等を確認し適切な取扱い方法を説明、の力を は、薬剤を用いて、薬産管理、原理を は、薬剤を開い、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の
かかりつけ薬剤師指導料(処方語 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、 初回処方時1回1 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(が が外来服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤管理指導料 (月1回に限り) 在宅患者訪問薬剤管理指導料 (月4回は尿り) 在宅患者が同薬剤管理指導料 (月4回は尿り) 在宅患者が同薬剤管理指導料 (別はよ心解薬の投与が必要な患 月8回まで 別による解薬の投与が必要な患 月8回まで 日1年限力 (別はよの発薬の力力の薬剤管理 (別はよの発薬の力力の薬剤管理 (別はよの方の)まで (別はよの方の)まで (別はよの方の)まで (別はよの方の)を (別はよの方の)まで (別はよの方の)を (別はよの)を (別はなの)を (別はなの)を	 変 イロロボース 新保証 月 1 に 東	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 は2日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) イ以外の場合(3月に1回まで) 不成患者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合 ・建物診療患者が1人の場合 ・建物診療患者が1人の場合 ・び2以外の場合 ・び2以外の場合 ・でき) 者オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 を受付1回につき(訪問時)) ・つき) 者オンライン薬剤管理指導料を算定する場合	76点 22点 10点 5点 10点 5点 10点 35点 30点 30点 291点 185点 34点 240点 125点 110点 90点 250点 320点 290点 290点 22点	患者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となりパーテーション等でブライバシーに配慮した場所で 業状況を一元的、継続的に把催して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に記し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 利節以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『乳が足動を定している場合に、かかりつけ薬剤師が行業 悪薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理指導料の『吸入薬指導加算』と同様 服薬管理が国難な患者さん又は家族等の優更医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にで 理した場合や、患者とみ又は家族等の保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険 療機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、 を機関に情報提供した場合の点数です。 う種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、 が関と、自体に対象との必要性なが服薬管理に係る支援の必要性の了解を得た上で、2割以上の内服薬では1割でご観か 以上の内服薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行った場合に加算される点数です。 「健と人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 「種類以上の内服薬を服用している患者さんの悪変化学・ が置き、人福祉施設等の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 「全種類以上の内服薬を服用といる患者さんの重複技薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬情報を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認やを行った場合 についての点数です。 「中服薬・服用・週間以内の内服薬を除く) 複数の医療機関を受診している患者さんの重複技薬の解消を推進する観点から、薬局において患者さんの服薬情報を一元的に把握し、重複投薬の有無の確認やを行ったよの、 の、選を一定の、と、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
かかりつけ薬剤師指導料(処方語 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に回処方時1回1 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 外水服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤管理指導料 (月4回に限り) 在宅患者防間薬剤管理指導料 (月4回による麻薬の投与が必要な患 対による麻薬の投与が必要な患 対による麻薬の投与が必要な患 利・配育脈栄養は週2回かつ 月を記者オンライン薬剤管理指 麻薬管理指導加算 在宅患者医療用麻薬持続対	 変 イロロコース (1 を) (1 を)	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与国数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (別に回まで) - (以外の場合(3月に1回まで) - (3月に1回まで) - (3月に1	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 12点 350点 30点 291点 185点 34点 240点 125点 110点 60点 650点 320点 290点 20点 20点 100点	語者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となり、一テーション等でブライバシーに配慮した場所で、 等を手帳に応載し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ、 剤師以外が対応する場合があります。 服業管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理指導料の『外児特定加算』と同様 服薬管理があるの場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 の場合には調剤基本料、薬剤調製料等や薬学管理料等が含まれます。 理した場合や、患者さんのないまな味をの受望や医師の指示により、持きれた、根理・の医薬品を一包化等にで、 理した場合や、患者さん又は家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険と 環機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら被包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して、処 方医に治療上の必要性及び服薬管理に係る支援の必要性のア解を得た上で、2剤以上の内服薬又は1剤でる種類 以上の内服薬を服用している患者さん又は多な必要な服業情等を行い、か、患者さんの服薬・管理を接した場合に 当該内服薬の投与日数に応じて算定される点数です。 介度を人福祉施度の職員と協働して、服薬管理の支援や指導を行った場合に加算される点数です。 企種類以上の内限薬を服用している患者さんの重複投薬の有消と行った場合に加算される点数です。 企種類以上の内限薬を服用している患者さんで、薬剤師が文書を用いて処方医に提案と種類以上減少した場合の 点数です。(屯服薬、服用4週間以内の内服薬を除く) 複数の皮療機関を受診している患者さんの重複及薬の解消を推進する観点から、薬局においた患者さんの服薬情 を一元的に把握し、重複な薬の者需の確認等を行ったとで、処方医に重複投薬等の解消に係る提案を行うな についての点数です。 通際が困難な在宅で療養を行っている患者もんを訪問又は情報通信機器を用いて、薬促管理、服薬指導、服薬を 技術、薬剤の面に使用の観点から、医師の求めなどこに応して、調剤後も副作用の有無の確認や服薬指導等を い、その結果を処力医に情報提供した場合に加算される点数です。 (建物)に居住している患者さんを誘問する人類に関すれる点数です。 (建物)に居住している患者さんを誘問する人類に関する治療薬のよりに情報提供した場合に加算される点数です。 (建物)に居住している患者さんを所谓するといいのよりに対しまする。 通際が困難な在宅で療養を行っている患者さんでは解析と連携を行った場合に加算される点数です。 (建物)に居住している患者が必要が発生を行った場合に加算される点数です。 (建物)に居住している患者を分の実施を行った場合に加算される点数です。 (建物)に居住している患者との事情を行った場合に加算される点数です。 (建物)に用性している患者とのでは、として、として、として、として、として、として、として、として、として、として
かかりつけ薬剤師指導料(処方部 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、初回処方時1回1 乳幼児服薬指導加算(3月に1回 乳幼児服薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(が が水・服薬支援料 服用薬剤管理指導料 (月1回に限り) 在宅患者助開薬剤管理指導料 (月4回に未解薬の投与が必要な 月8回)まで) 在宅患者オンライン薬剤管理 麻薬管理指導加算 在宅患者大ンライン薬剤管理 原料による麻薬所栄養は週2回かつ 月8回)まで) 在宅患者大ンライン薬剤管理 原薬管理指導加算 在宅患者医療用麻薬持続注 乳幼児加算(6歳未満)	Tan	回につき)	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 12点 350点 30点 291点 185点 34点 240点 50点 125点 110点 60点 650点 320点 290点 20点 20点 20点 20点 30点 30点 30点 30点 30点 30点 30点 30点 30点 3	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
かかりつけ薬剤師指導料(処方語 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に回処方時1回1 乳幼児服薬指導加算(6歳: 小児特定加算 吸入薬指導加算(3月に1回 外水服薬支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤調整支援料 服用薬剤管理指導料 (月4回に限り) 在宅患者防間薬剤管理指導料 (月4回による麻薬の投与が必要な患 対による麻薬の投与が必要な患 対による麻薬の投与が必要な患 利・配育脈栄養は週2回かつ 月を記者オンライン薬剤管理指 麻薬管理指導加算 在宅患者医療用麻薬持続対	 業 イロに素 (回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (投与国数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 (別に回まで) - (以外の場合(3月に1回まで) - (3月に1回まで) - (3月に1	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 12点 350点 30点 291点 185点 34点 240点 50点 125点 110点 60点 650点 320点 290点 20点 20点 20点 20点 30点 30点 30点 30点 30点 30点 30点 30点 30点 3	・東者さんから同意いただいた薬剤師がかかりつけ薬剤師となり、(一テーション等でブライバシーに配慮した場所で実 、実状況を一元的・経統的に把握して業務を行う場合の点数です。また、患者さんの意向を確認した上で、残薬の状 等を手帳に配載し処方医に情報提供するよう努めます。なお、24時間相談に応じる体制をとりますが、かかりつけ 利節以外が対応する場合があります。 服薬管理指導料の「解党管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の「特定薬剤管理指導加算』と同様 服薬管理指導料の「特定薬剤管理指導加算」と同様 服薬管理指導料の「特定薬剤管理指導加算」と同様 服薬管理指導料の「特定薬剤管理指導加算」と同様 服薬管理指導料の「外皮薬剤管理指導加算」と同様 服薬管理指導料の「外皮薬剤管理指導加算」と同様 服薬管理指導料の「外皮薬剤等の質量と同様 服薬管理指導料の「外の大薬指導加算」と同様 服薬管理指導料の「外の大薬指導加算」と同様 服薬管理が関難な患者さんのかかりつけ医が地域包括診療料、地域包括診療料、地域包括診療料、地域包括診療料の企業学・で選別等が含まれます。 服薬管理が困難な患者さん又は家族等の要望や医師の指示により、持参された服薬中の医薬品を一包化等にて、理した場合や、患者さん以は家族等の実験を物で、実物の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険に機関に情報とした場合の裏数です。 を機関に情報提供した場合の点数です。 多種類の薬剤を投与されている患者さん又は自ら減包を開いて薬剤を服用することが困難な患者さんに対して処した。 が経過の薬の服用時点ごとの一包化及び必要な服薬指導を行い、かつ、患者さんの服薬で組みで3種と以上の内服薬を服用している患者さんに薬剤師が文書を用いて処方医へ提案と2種類以上の内服薬を服用している患者さんに薬剤師が文書を用いて処方医へ提養的において患者とれる原数です。 (種類以上の内服薬を服用している患者もんに薬剤師が文書を用いて処方医に増生のの服薬質とは動し、服薬を理り、中臓が必要を限力において患者されの原薬を育った。(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
かかりつけ薬剤師指導料(処方部 麻薬管理指導加算 特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算2(特定薬剤管理指導加算3(当該品目に関して、初回処方時1回1 乳幼児服薬指導加算(3月に1回 乳幼児服薬指導加算(3月に1回 かかりつけ薬剤師包括管理料(が が水・服薬支援料 服用薬剤管理指導料 (月1回に限り) 在宅患者助開薬剤管理指導料 (月4回に未解薬の投与が必要な 月8回)まで) 在宅患者オンライン薬剤管理 麻薬管理指導加算 在宅患者大ンライン薬剤管理 原料による麻薬所栄養は週2回かつ 月8回)まで) 在宅患者大ンライン薬剤管理 原薬管理指導加算 在宅患者医療用麻薬持続注 乳幼児加算(6歳未満)	 業 イロ四 月月 に 限満 に いか	回につき) こに処方された場合 食薬剤師が必要と判断し指導を行った場合 で) イ 安全性に関する情報提供を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 ロ 医薬品の選択等に関する説明を行った場合 は 1回まで) 42日分以下の場合 (投与日数が7日又はその端数を増すごとに) 43日分以上の場合 携加算(月1回に限り) 1回まで) 重複投薬等の解消に係る実績を有していること (3月に1回まで) 不以外の場合(3月に1回まで) 不成患者に対して行った場合 生心不全患者に対して行った場合 ・建物診療患者が1人の場合 ・建物診療患者が2人以上9人以下の場合 はび2以外の場合 ・でき) 者オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 養受付1回につき) でき) 者オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 養受付1回につき) でき) 者オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 養受付1回につき) でき) 者オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 養受付1回につき) でき)	76点 22点 10点 5点 100点 5点 10点 12点 350点 30点 291点 185点 240点 50点 125点 110点 90点 650点 320点 290点 290点 100点 22点 250点 100点	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

		(6) (7) (2025年10月1)	
		 対応的か計明英利英研化道になる広まの会本にはい、図会に広英笑のか英もまそう/ ウェアはて必要か反英ロ	
計画的な訪問薬剤管理指導に係る疾患の急変に伴うも のの場合	500点	計画的な訪問薬剤管理指導に係る疾患の急変に伴い、緊急に麻薬等のお薬を患者さん宅に届けて必要な医薬品 関する説明を上、場合の点数です。又、新興感染症等の患者さんに対して、薬剤師が訪問して必要な薬学的管理及 び指導を実施し、薬剤を交付した場合にも算定される点数です。	
イ 夜間訪問加算	400点	午前8時前と午後6時以降であって深夜を除く時間帯において調剤した場合に加算される点数です。 ※休日訪問加算に該当となる休日を除く	
口 休日訪問加算	600点	日曜日及び祝日、年末年始(1月2日、3日、12月29日、30日、及び31日は休日として扱う)において調剤した場に加算される点数です。※深夜に該当する場合には深夜訪問加算が該当となる	
ハ 深夜訪問加算	1, 000点	午後10時~午前6時(深夜)までの時間帯において調剤した場合に加算される点数です。	
2 1以外の場合	200点	計画的な訪問薬剤管理指導に係る疾患以外の急変に伴い、緊急に麻薬等のお薬を患者さん宅に届けて必要な医品に関する説明をした場合の点数です。	
理指導料 (新興感染症等を含む)	59点	在宅患者訪問薬剤管理指導を実施している患者さんの急変等により、緊急に対応するため、情報通信機器を用いて、必要な薬学的管理及び指導を行った場合の点数です。	
(1回につき)	100点	在宅患者訪問薬剤管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様	
在宅患者緊急オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 (処方箋受付1回につき)	22点		
	250点	在宅患者訪問薬剤管理指導料の『在宅患者医療用麻薬持続注射療法加算』と同様	
	100点	在宅患者訪問薬剤管理指導料の『乳幼児加算』と同様	
(1回につき)	450点		
在宅患者緊急オンライン薬剤管理指導料を算定する場合 (処方箋受付1回につき)	350点	在宅患者訪問薬剤管理指導料の『小児特定加算』と同様	
	150点	在宅患者訪問薬剤管理指導料の『在宅中心静脈栄養法加算』と同様	
指導料 (月2回まで)		訪問薬剤管理指導を実施している患者さんの急変等により、医師等と共同で患者さん宅にてカンファレンスに参加 て必要な医薬品に関する説明をした場合の点数です。	
き)	100点	在宅患者訪問薬剤管理指導料の『麻薬管理指導加算』と同様	
	250点	在宅患者訪問薬剤管理指導料の『在宅患者医療用麻薬持続注射療法加算』と同様	
につき)	1	在宅患者訪問薬剤管理指導料の『乳幼児加算』と同様	
	 	在宅患者訪問薬剤管理指導料の『小児特定加算』と同様	
回につき)	150点	在宅患者訪問薬剤管理指導料の『在宅中心静脈栄養法加算』と同様	
(入院中1回 (がん末期患者等は2回)まで)	600点	入院患者さんの退院後の在宅での療養上必要な医薬品に関する事項を、入院医療機関の医師等と共同で説明を た場合(ビデオ通話含む)の点数です。	
1 保険医療機関の求めがあった場合(月1回まで)	30点	診療を受けた医師の求めに応じ、患者さんの同意の上、薬剤の使用が適切に行われるよう調剤後も患者さんの服薬の情報等について把握し、情報提供、指導等を行い、その情報を医師に文書で提供した場合の点数です。	
2 17 / 1 加大等に上る調製後 加大医に必要な棒程	20点	患者さんやその家族等からの求めに応じ、又は薬剤師がその必要を認めた場合に患者さんの同意の上、薬剤の作用が適切に行われるよう調剤後も患者さんの服用薬の情報等について把握し、情報提供、指導等を行い、その情を医師に文書で提供した場合の点数です。	
□ を文書により提供した場合 ・ 介護支援専門員に必要な情報を文書により提供した。			
		入院を予定されている患者さんにおいて入院医療機関からの求めがあり、患者さんの同意を得た上で、患者さんの	
③ 薬を整理、情報提供を行った場合(3月に1回)		服用薬の情報等について一元的に把握し、必要に応じて服用薬の整理を行うとともに、入院医療機関に必要な情を文書により提供した場合の点数です。	
	1		
処方箋交付前に処方提案を行い、提案が反映された処	20点	①点 在宅患者さんに、薬剤服用歴の記録(薬歴簿)等の参照や残薬の確認をして、重複投薬又は相互作用、アレル 反応の防止の目的、又は残薬調整の為に処方医に処方内容を確認し処方内容が変更された場合の点数です。	
	40±		
	t		
一、公水的正;1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/	100点	 胃瘻若しくは腸瘻による経管投薬又は経鼻経管投薬を行っている患者さんの要望や医師の指示により、簡易懸落 による薬剤の服用に関して必要な支援を行った場合の点数です。	
(在宅患者訪問薬剤管理指導料等を算定した初回算定日の 属する月に1回に限り)	230点	温院直後等に、様々な職種の方と連携し、今後のお薬の管理や服薬指導のために服薬状況の確認や薬剤の管理 とについて必要な指導を行った場合に算定される点数です。	
		医薬品の料金です。この料金は定期的に見直される公定価格です	
使用薬剤の薬価が薬剤調製料の所定単位につき15円以 下の場合	1点		
使用薬剤の薬価が薬剤調製料の所定単位につき15円を超 える場合の加算	10円又はそ の端数を増 すごとに1点		
特別調剤基本料A及びBを算定する薬局において、処方に つき7種類以上内服薬の調剤を行った場合	所定点数の 100分の90		
		この料金は、保険で認められている医療材料の料金です。この料金は定期的に見直される公定価格です。	
	材料価格を 10円で除し て得た点数		
		□ のの場合	

[※] 基礎額とは調剤基本料(加減算含む)、薬剤調製料、無菌製剤処理加算、調剤管理料の合計額。 麻薬・向精神薬・覚醒剤原料・毒薬加算、自家製剤加算、計量混合調剤加算、重複投薬・相互作用等防止加算、調剤管理加算及び医療情報取得加算は基礎額に含みません。

明細書に記載されている項目の内容や点数です。 ご不明な点は、薬剤師にお問い合わせください。